



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズクラブ国際財団
糖尿病交付金申請書





ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) 糖尿病交付金プログラムは、各地域社会で糖尿病啓発・予防・管理の取り組みの強化を目指すライオンズを資金面で支援します。ライオンズは、糖尿病キャンプの強化・拡大、包括的糖尿病スクリーニング検査への支援、糖尿病サービスを提供する優れた医療施設へのアクセス向上、および医療専門家の知識向上を目指すインパクトの大きな事業に対し、25万ドルを上限に交付金を申請できます。こうした目標の達成に向けて、ライオンズは各地区で糖尿病関連団体と提携することが奨励されます。

ライオンズクラブ国際財団:

2017年、ライオンズクラブ国際協会は奉仕組織としての100周年を記念し、糖尿病を新しいグローバル重点分野の一つに指定しました。この新しい行動への呼びかけに沿って、ライオンズクラブの会員が糖尿病の分野において最善の形で奉仕できるよう導くための戦略が策定されました。この戦略では、糖尿病分野におけるライオンズの活動について、以下のビジョンと目標を打ち出しています。

ビジョン:「糖尿病の流行を抑えるとともに、糖尿病と診断された人々の暮らしを充実したものにする。」

目標:

- 糖尿病と前糖尿病に対するライオンズと各地域社会の認識を高める。
- 地域社会の環境を、健康的なライフスタイルを促し支援するものにする。
- 糖尿病の治療、医薬品、診断機器へのアクセスを拡大する。
- 糖尿病に関する国の政策および計画の実施において調整と支援を強化する。

LCIF糖尿病交付金の対象範囲は幅広く、糖尿病の蔓延に社会的なインパクトを及ぼしたいと考えているライオンズを支援するものです。LCIFの糖尿病交付金の焦点は、地域社会の公衆衛生の向上につながる大規模な糖尿病予防、管理、認識向上、奉仕事業です。より具体的には、糖尿病交付金プログラムでは、以下の介入分野のいずれかに該当する事業を支援します。

- リスクのある地域社会/個人を対象とする大規模な施設または検診車によるスクリーニング検査事業で、有資格の医療専門家による包括的フォローアップ治療と組み合わされている場合。糖尿病リスク評価と糖尿病啓発活動を役立てる必要があります。
- 既存の糖尿病キャンプ、合宿、シンポジウムの強化と拡大。
- 既存のインフラの改善や既存の糖尿病サービスへの患者のアクセス向上を目的とした改修および設備取得による医療施設の拡充。
- 糖尿病/前糖尿病の人々を扱う有資格の医療従事者の初回またはフォローアップ研修、および/または地域糖尿病啓発者としてのライオンズの研修。

資金は認識向上活動や支援グループにも利用できますが、それらが上記4つの介入分野のいずれかに組み込まれている場合に限られます。

ライオンズのあらゆるアイディアが、LCIFのこの交付金プログラムの対象になるとは限りません。幸い、LCIFとライオンズクラブ国際協会による他のプログラムを通して、資金援助を受けることも可能です。例えば：

- **視力ファースト交付金：**包括的な眼科医療のアプローチに組み込まれた糖尿病性網膜症事業を支援します。
- **地区及びクラブシェアリング交付金：**クラブと地区はLCIFへの寄付額の一部を、小規模な地域事業に役立てることができます。





ガイドライン

この申請書に必要な事項を記入する前に、LCIF糖尿病交付金基準および規定に目を通してください。審査の対象となるかをLCIFが判断できるよう、下記の情報をもれなくご提出いただく必要があります。申請書は随時受け付けておりますが、予定されている各LCIF理事会会議の90日前までに届いている必要があります。これらの会議は、毎年8月、1月、5月に開催されます。申請書提出の具体的な締切日については、ウェブサイトをご覧ください。LCIFにお問い合わせください。

LCIF理事会およびLCIFグローバルヘルス・イニシアチブ課の職員は、必要に応じて追加の関連情報を要請する権限を有します。追加情報が必要な場合には、その旨の要請が、該当する地区ガバナー、複合地区協議会議長、または事業委員長に送られます。

LCIFは、申請書の受領をEメールでお知らせします。このEメールでは交付金番号も通知しますので、申請についてLCIFに連絡する際にご使用ください。他の機関の書式や、一般的な資金獲得キャンペーン用に作成されたパワーポイント・スライドの形で申請を寄せられても、受け付けられませんのでご了承ください。

糖尿病交付金プログラムの基準と申請手順に関するご質問は、LCIFのグローバルヘルス・イニシアチブ課 (diabetesgrants@lionsclubs.org) までお寄せください。

介入分野	事業の説明
糖尿病キャンプ、合宿、シンポジウム	定義:医学上安全な好ましい環境で仲間同士の交流と学習を促すことを目的として組織される地域グループおよび活動。 オプション:組織されたグループを宿泊させることのできる施設で実施される通常の一泊キャンプ、一日キャンプ、合宿、またはシンポジウム。一日の短期キャンプから、一週間の長期合宿まで、さまざまな期間で行えます。 目標:セルフケア、仲間同士の学び、投薬、栄養、適度の運動、生活習慣や行動の改善、健康など、糖尿病の自己管理と健康への認識を高めること。 対象となる経費:キャンプや合宿の一般的な運営費 (医療関係者の日当、プログラムの経費、消耗品)、および既存のキャンプ施設を改善・改修してプログラムとサービスを拡大するための費用。 対象とならない経費:個人のスポンサー/奨学金、キャンプへの参加者の交通費、新しい建物の建設やキャンプの設置。 指標:申請者は、キャンプへの参加人数、研修を受けた医療専門家の人数、行われた授業/セッションの数など、包括的な成果の指標を追跡する体制を整えておくべきです。

包括的フォローアップ治療を伴う糖尿病スクリーニング検査活動	定義:糖尿病スクリーニング検査は、医療専門家と提携して実施される地域社会の認識向上・啓発行事。参加者が確実にフォローアップ治療を受けられるよう、包括的な紹介ネットワークと支援サービスが用意されていなければなりません。 オプション:さらなる検査や迅速な行動を必要とする糖尿病ハイリスク集団を対象に、糖尿病に関する個別または一連の包括的認識向上・健康啓発・スクリーニング検査行事を実施。スクリーニング検査行事に対する支援を申請する場合には、人材育成など、その他の該当する要素と組み合わせることができます。 目標:対応の不十分な地域において、糖尿病とその合併症について認識している個人と地域社会の数、および自分が糖尿病であることを初めて自覚し、包括的な管理・抑制サービスへのアクセスを得た人々の数を大きく増やすこと。 対象となる費用:物流費、医療従事者やカウンセラーの日当、施設のレンタル料、スクリーニング検査の消耗品（それが唯一の事業経費ではない場合）。 対象とならない費用:糖尿病限定のスクリーニング検査行事ではなく、一般的な検査行事である場合の患者当たりの費用/補助金/払戻金および経費 指標:申請者は、糖尿病スクリーニング検査を受けた人々の数、追加検査のために医療専門家に紹介された人々の数、前糖尿病または糖尿病と確定診断され、予防または管理・抑制を目的とする医療プログラムを紹介された人々の数など、包括的な成果の指標を追跡する体制を整えておくべきです。
糖尿病ケアのインフラ開発と設備取得	定義:インフラ開発と設備取得への支援を通して医療へのアクセスを向上。この種の事業は多くの場合、人材育成などの関連活動と組み合わせて行われます。 オプション:一次および二次医療施設のスペースの改善や設備ニーズへの支援。この種の事業は多くの場合、人材育成などの関連活動と組み合わせて行われると予想されます。 目標:対応の不十分な集団に提供される糖尿病および糖尿病関連サービスの質を高め、数を増やすこと。糖尿病サービスを提供する医療施設の持続可能性を高めること。 対象となる費用:糖尿病および/またはその関連の共存疾患の治療に利用される既存のインフラの改修、主な医療設備の購入。 対象とならない費用:新規の医療施設の設置費および運営費（賃借、土地の取得等）。
人材育成と能力強化	医療、臨床、またはその他の専門家レベルの技能を習得または向上させるための人材育成と能力強化。地域社会の糖尿病啓発者としてのライオンの研修を目指す事業も含まれます。研修は地域で企画・実施されるべきです。糖尿病の有病率が高く、糖尿病の予防・管理・抑制に関する知識を持った医療従事者が明らかに不足している国々が優先されます。 オプション:優れた糖尿病センターと提携して行われる認定糖尿病啓発者、カウンセラー/インストラクター/有資格の医療従事者の研修。一般開業医・看護師の糖尿病治療に関する知識とスキルの向上。 目標:糖尿病関連の問題に関する知識を高め、個人（および地域社会）を関与させる新しいアプローチを学んで伝達することで、能力を強化し糖尿病の予防と管理を推進すること。 • 糖尿病と前糖尿病に関する保健・治療プログラムの研修 • 糖尿病啓発・予防・管理に関する技術と教育に基づく認定 • 糖尿病に関連した多様な部門における専門能力の育成 対象となる費用:医師の管理下での研修プログラムに伴う授業料、給付金、交通費、その他の経費 対象とならない費用:新たに研修を受けた専門家が元の施設に戻ってからの給与。

基本情報

1. 事業名
2. 事業の開催地(市町村、県、国)
3. 総事業予算
4. LCIFに対する申請額(米ドル)
5. 事業の期間
6. 事業の目標
7. 事業の具体的な目的
8. この事業による直接の受益者の数
9. 申請書を提出するライオンズ地区(単一、準、または複合)
10. 事業の実施に直接参加するライオンズクラブの数
11. 協力してくれるパートナー/組織/機関
12. 主な事業コーディネーターの連絡先(氏名、電話番号、Eメールアドレス等)

事業の目的を立てる時には、以下を考慮してください。

1. 達成したい/変えたいことは何か?
2. 事業の量的インパクトは?
3. 事業の対象者は?
4. この事業はどこで行われるか?
5. 成果はいつまでに達成されるか?

事業の背景

13. 事業の対象地域に関する情報を教えてください。
 - 最新の人口調査によれば、事業の対象地域の人口は何人ですか?
 - 事業の対象地域における糖尿病の有病率はどれくらいですか?(データの出典も教えてください)
 - 事業の対象地域において糖尿病ケアへのアクセスを妨げている主な障害を特定し、説明してください。
14. 糖尿病ケアは、国内レベルと事業の対象地域(異なる場合)でどのように実施されていますか?
 - 事業の対象地域における公的および民間の糖尿病ケア・サービスの現在の可用性と品質について説明してください。
 - 事業の対象地域において、国の糖尿病または非感染性疾患の予防計画が実施されている場合には、この事業はその計画とどのように連携していますか?

事業の説明

15. この事業の対象グループについて、またその集団を選んだ理由について説明してください。
16. 実施上のパートナーや技術提供者など、事業の関係者について教えてください。
 - それぞれの事業パートナーおよび/または専門家の略歴を教えてください。
 - 各パートナーの役割と責任を説明してください。
 - 各パートナー組織から、事業に対する支持とその役割および関与を記した文書を入手し、添付してください。
17. 事業期間中に奉仕を受ける人々の予想人数を教えてください。事業の成果は、測定可能、達成可能で、事業の目的と活動に明確に資するものであるべきです。

18. 申請者には、以下の補足質問に答えることで、個々の事業活動の詳細、説明、分析を提供していただきます。質問は、申請者の事業の対象となる介入分野ごとに設けられていますので、該当する質問に答えていただく必要があります。

A. 糖尿病キャンプ、合宿、シンポジウム

以下を含めて、取り組みの歴史、成果、目標に関する情報を教えてください。

- ・参加者の層（1型、2型）。
- ・医療機関パートナーの説明。
- ・キャンプの監督および/または実施を支援してくれる医療従事者のリスト。
- ・キャンプのカリキュラムの例。毎日のトピックとキャンプ活動を含めてください。
- ・評価やアンケートを含めて、キャンプ後のサービスおよびフォローアップ計画の説明。経験豊富な機関による技術指導が提供され、正式な契約書により関係が成文化されている場合を除き、実績のないキャンプ組織は援助の対象となりませんので、ご注意ください。
- ・指導組織により提供される指導および監督業務と、これらの業務が続く期間を詳述してください。

B. 包括的なフォローアップ治療を伴う糖尿病スクリーニング検査活動

- ・計画されているスクリーニング検査行事の回数を明記してください。
- ・スクリーニング検査に参加する医療パートナーの役割、責任、資格を説明してください。糖尿病の予防、管理、および/または抑制における具体的な経験を明記してください。
- ・スクリーニング検査を受けて糖尿病、前糖尿病、またはその他のリスクのあることが分かった人々が、確実に適切なフォローアップ治療を受けるようにするために踏むべき手順に関する計画を詳述してください。これには、フォローアップ治療の提供者、彼らが人々に確実にフォローアップ治療を受けさせる方法、そのケアの資金、およびアウトカムを追跡してスクリーニング検査から介入または治療、介入後または治療後までの継続性を立証する方法を含めるべきです。
- ・フォローアップ治療を提供する医療パートナーは、スクリーニング検査プログラムを実施するライオンズとの間で、そのパートナーの義務を記載した覚書（または同様の書類）を交わす必要があります。これは具体的に記述されるべきであり、可能であればフォローアップ治療を提供するための見積費用を含めてください。

C. 糖尿病ケアのインフラ開発と設備取得

- ・施設の改修/拡張を提案する場合には、その施設の設計図を提出してください。事業の目的において説明されていない場合には、提案される施設の改善が必要である理由を説明してください。
- ・現在の設備のリスト（設備の使用年数/状態を含めて）および要望する設備のリストを提出してください。要望する設備の必要性を説明してください。

D. 人材育成と能力強化

どのような種類の専門教育、研修、認定、または評価が計画されているかを説明してください。

- ・研修を提供するプログラムまたは組織に関する情報。研修は、正式に認可または公認された組織または主体により、糖尿病関連のケアまたは関連の下位専門分野を焦点に行われるべきです。
- ・研修プログラムの具体的内容（教育計画、研修日程、習得される能力やスキル）を概説してください。
- ・幅広い地域社会のニーズとこの事業全体に照らして、この専門教育または研修の必要性を詳述してください。
- ・事業が終了して以降、地域社会における糖尿病ケアのインパクトを拡大する上で、この研修はどのように役立てられていくでしょうか？

ライオンズの事業であることおよびその関与の明示

19. 事業管理、資金調達、広報、アドボカシー、および事業の実施において、ライオンズはどのような役割を果たすでしょうか？事業には、いくつかのライオンズクラブが参加しますか？参加するクラブの具体的な役割/責任を列記してください。
20. LCIFによって実現された事業であることを明示するための計画を説明してください。事業の広報資料やメディアでは、LCIFとライオンズ双方の支援と関与が明示されている必要がありますので、ご注意ください。

監視および評価

21. 事業活動の監視および評価に関する計画について、以下を説明してください。
- 各事業活動はどのように監視され、評価されますか？
 - 監視と評価の責任は、誰が、どの頻度で、いつまで担いますか？
 - データや結果は、事業/プログラムの改善にどのように役立てられますか？
22. 該当する場合には、事業の過程で使用するアンケートまたは評価書のコピーを添付してください。

事業のスケジュール、予算、および持続可能性

23. 下記のテンプレートを使って、事業全体の予想収支を含めた予算の内訳を記入してください。
- 予算は米ドルで提出してください。
 - 事業経費をすべて項目別に記載し、これらの費用のどの部分を誰が負担するかを注記してください。
 - 各財源(地区、LCIF、政府パートナー、その他)が提供する金額を記入し、状況(徴収済み、誓約、または見込み)を書き添えてください。「誓約」および「見込み」と記されている額については、その資金を事業に利用できるようになる日を記載してください。「徴収済み」の金額については、確認のため、署名済みの覚書と銀行口座の明細書を添付してください。
 - 予算に記載されている経費の根拠となる適切な書類を添付してください。支出欄に記載される各項目別に、見積書、価格見積書、設計図を含む改築工事の費用見積り、および/または予算を裏付けるその他の書類を提出する必要があります。
 - 事業経費の欄に記入した項目ごとに、予算の詳細を説明してください。記載されている各項目を必要とする理由とその費用が妥当であることを説明してください。

現地マッチング資金は現金のみによるものとし、その少なくとも半額は、交付金を申請するライオンズによって調達されなければなりません。

申請を承認されたライオンズは、LCIFに初回分の支給を求める前に、現地マッチング資金の25%が調達されていることの証拠を示す必要があります。

収入				支出			
財源	金額	状況	特記事項	経費項目		金額	経費に関する説明
ライオンズ				1			
				2			
パートナー				3			
				4			
LCIF		見込み		5			
				6			
合計	\$0.00				合計	\$0.00	

24. 事業が今後どのように持続されるかを説明してください。運営費、維持費、管理費を誰が負担するかを説明してください。
25. 事業の実施から完了までのスケジュールを説明してください。

申請書の承認

1. 各交付金申請書には、キャビネットまたは協議会が承認したことの証明が含まれていなければなりません。申請書が承認されたキャビネット(単一または準地区)会議または協議会(複合地区)会議の議事録を1部提出してください。
2. 単一地区および準地区が申請する場合、**申請書には地区ガバナーの署名のみが必要です**(交付規定をご参照ください)。
3. 複合地区が申請する場合、**申請書には協議会議長の署名のみが必要です**(交付規定をご参照ください)。

事業委員長の署名

ここに、私がLCIF糖尿病交付金の交付基準と交付金申請書を確認したことを証明します。私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、記述された通りの必要が存在します。私は、本申請書を承認するとともに、資金が交付された場合には、交付金管理責任者として、確実にその資金が適正かつ効果的に使用され、正当な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

事業委員長氏名	地区名
電話	Eメール
署名	日付

地区ガバナーの承認(単一地区および準地区レベルの交付金申請書)

ここに、私がLCIF糖尿病交付金の交付基準と交付金申請書を確認したことを証明します。私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、記述された通りの必要が存在します。私は、本申請書を承認するとともに、資金が交付された場合には、交付金管理責任者として、確実にその資金が適正かつ効果的に使用され、正当な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

地区ガバナー氏名	地区名
電話	Eメール
署名	日付

協議会議長の承認(複合地区レベルの交付金申請書)

ここに、私がLCIF糖尿病交付金の交付基準と交付金申請書を確認したことを証明します。私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、記述された通りの必要が存在します。私は、本申請書を承認するとともに、資金が交付された場合には、交付金管理責任者として、確実にその資金が適正かつ効果的に使用され、正当な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

協議会議長氏名	複合地区名
電話	Eメール
署名	日付

交付金額と支援のレベル

糖尿病交付金は、1万ドルを最小金額として、単一地区の事業に対しては15万ドル、複合地区の事業に対しては25万ドルを上限に提供されます。LCIFに対して、事業総予算の75%までの資金を申請できます。糖尿病交付金プログラムの基準13をご覧ください。

申請締切日

LCIF理事会では、基準を満たしたすべての糖尿病交付金申請書を、年に3回(5月、8月、1月)審査します。申請書は随時受理されますが、理事会の定例会議の90日前までに、基準をすべて満たした状態で届いていなければ、審査の対象とはなりません。交付金申請の締切日は、www.lcif.orgでご確認ください。

LCIF糖尿病交付金基準

1. 交付金の対象として考慮されるのは、交付金を申請するライオンズ複合地区、地区、および参加クラブの財源および資金調達能力を超える事業である。少なくとも2つのクラブが、事業の資金援助と実施に関与しなければならない。
2. 事業は、糖尿病に関する国の目標を支援する活動やプログラムの促進につながるものでなければならない。
3. 事業には、国および現地の保健機関、医療施設、糖尿病支援協会、大学、学校組織と連携し、必要に応じてパートナーシップを締結して当たるべきである。
4. 事業は、数多くの人々、また理想的には地域社会全体に役立ち、LCIFによる資金援助がもたらす慈善活動のインパクトを、最大限に高めるものでなければならない。さらに、社会においてリソースが不足している部門に役立ち、資金の必要性が明らかな事業が優先される。
5. 事業は、持続可能性が高いものであるとともに、LCIFの資金援助終了後の運営の継続が合理的に確実でなければならない。
6. LCIFの資金援助を求める事業では、ライオンズの事業であることが明示され、現地ライオンズが継続的に関与しなければならない。優先される事業は、ライオンズがボランティア奉仕を提供するとともに、従来から支援してきた実績があり、事業および/または関連施設の運営に資する明確に認識可能な役割を持つものである。
7. 交付金は、新しい病院施設や診療所等の建設に対しては申請できない。むしろ、既存の医療施設の改善や拡張を目的とした事業が優先される。
8. 糖尿病交付金は、LCIFの他の交付金プログラムを活用することが適切な事業に対しては交付されない。糖尿病性網膜症を焦点とする事業については、視力ファースト交付金を申請すべきである。LCIFの他のプログラムに関する情報は、www.lcif.orgに掲載されている。また、LCIFに連絡して入手することもできる。
9. いかなる場合にも、ある一つの事業に対して継続的に交付金が承認されることはない。糖尿病交付金を受ける事業または施設は、最終報告提出後1年の期間を置かな

交付の対象となる事業

- 糖尿病キャンプ、合宿、シンポジウム
- 包括的なフォローアップ治療を伴う糖尿病スクリーニング検査活動
- 糖尿病ケアのインフラ開発と設備取得
- 人材育成と能力強化

交付の対象とならない事業

- ✕ 科学的または臨床的研究
- ✕ 新規事業
- ✕ 患者ケア施設の新設
- ✕ 一つのクラブによる事業
- ✕ 土地や建物の購入
- ✕ 会議、ワークショップ、ミーティング、その他への旅費
- ✕ 個人への援助
- ✕ 政府または他の機関の資金で行われることが適切な事業
- ✕ 申請地区外または国外で行われる事業

ければ、新たな交付金を申請することができない。以前に交付金を受けた同じ事業に対して申請する場合には、その事業が目的を果たしたことが条件である。

10. 各交付金申請は、交付金を受ける事業の利点、またLCIF理事会によって定められた交付基準をどの程度満たしており、資金援助を優先させるべき人道的事業であるかに基づいてのみ判断される。
11. 運営費に充てるための資金を、事業予算および交付金申請額の一部として含めることができるが、このような資金は、LCIFの交付金を受けて行おうとしている事業を開始するか、大幅に拡大するために使われる場合にのみ、認められる。申請者は、LCIFの交付金が使い果たされた後、運営費を賄っていく方法を明示しなければならない。
12. 事業に対するライオンズの関与とその明示に加えて、交付金を申請するライオンズ地区または複合地区と事業に参加するクラブは、その事業に対する相当額の資金提供を約束しなければならない。事業に関与するクラブは、現地マッチング資金として同等の金額を負担する必要はないが、その事業の資金を主に一つのクラブが負担しているわけではないことを示すに足る額を拠出すべきである。（注：一つのライオンズクラブのみが資金を提供する事業は、交付の対象とならない。）
13. ライオンズは、事業総予算の25%に相当する現地マッチング資金を、現金の形で調達しなければならない。パートナー組織または企業が事業への資金援助を行う場合には、その現金による寄付は、必要な現地マッチング資金の50%を超えないものとする。言い換えれば、ライオンズは事業総予算の最低12.5%を、現金の形で自ら調達しなければならない。
14. 現地マッチング資金は現金のみとする。ライオンズおよび/またはパートナーからの土地、労働力、資材等の現物寄付は、交付金事業案の強みとなるので、事業を説明する際に強調されるべきではあるが、LCIFの交付金に対するマッチング資金の一部として、予算に含めることはできない。さらに、現地マッチング資金は、提案されている事業のために直ちに使用できるか、拠出が誓約されている現金でなければならない。

LCIF糖尿病交付金規定

1. 交付金申請者は、LCIF糖尿病交付金申請書で事業案を提出しなければならない。申請書がLCIF職員の審査を受けるには、必要な情報もれなく記入されていなければならない。事業予算は、事業の収入源と支出項目がすべて明記され、収入額と支出額が一致していなければならない。記入漏れなどのある不完全な申請書、または他の形式によって提出された事業案は、検討の対象とはならない。
2. 交付金申請書がLCIF理事会の審査を受けるには、LCIF理事会会議の90日前までに、不備のない状態でLCIFに提出されなければならない。LCIF理事会会議は、8月、1月、および5月に開かれる。申請書提出締切日は、LCIFのウェブサイトを確認できる。または、LCIFに直接問い合わせることもできる。追加情報が必要となる場合が多いため、締切日に十分に先立って申請書を提出することが推奨される。申請書が前もって提出されていても、次のLCIF理事会会議でその申請が審査されるとは限らない。LCIF理事会会議での審査に付されるまでに、申請書の大幅な変更が必要となることがある。
3. 交付金の申請に当たっては、事業に協力するすべてのパートナーから、支援を表明する旨の署名付きの文書を入手の上、添付すべきである。この文書では、提案されている事業に協力するパートナーの役割を説明するとともに、その支援の性質（資源、人員、現金、物品、その他）を明記するものとする。
4. 以前に保留、却下、または取り下げられた申請書については、取り下げや却下の理由に応じて内容を修正した場合にのみ、再提出することができる。
5. 交付金の事業案は、すべてのライオンズ地区（単一、準、または複合）が提出できる。地域、州、または都道府県レベルでのインパクトの大きな事業が優先される。単一地区または準地区が申請書を提出する場合には、現職の地区ガバナーおよび協議会議長の両者が申請書に署名し、地区キャビネットが決議によってそれを承認の上、協議会議長にその旨通知しなければならない。複合地区が申請する場合には、協議会議長が申請書に署名し、協議会が決議によってそれを承認するものとする。申請書が承認されたキャビネット会議または協議会会議の議事録が提出されなければならない。これらの議事録は、LCIF理事会が申請書を審査するライオンズ会計年度のものでなければならない。新ライオンズ年度に入っても継続する申請および事業については、新年度のキャビネットまたは協議会にも事業の進捗状況に関する情報が伝達され続けるよう、地区または複合地区が責任を負うものとする。

6. 交付金承認時の地区ガバナーまたは複合地区協議会議長が、事業実施期間中の交付金管理責任者を務めるものとする。交付金管理責任者は、責任をもって事業専用の銀行口座を開設し、事業に関与するパートナーおよび業者に対して支払いを行う。事業が新会計年度に持ち越される場合には、交付金管理責任者は、その年度の地区キャビネットまたは複合地区協議会に、LCIFに提出した事業の経過報告書および最終報告書の写しを提出しなければならない。LCIFは、必要に応じて交付金管理責任者を交代させる権限を有する。
7. 申請地区外/国外で事業を実施しようとする地区または複合地区からの申請は、個別の事情に応じて検討される。そうした事業は、ライオンズクラブ国際協会ミニ交付金や地区シェアリング・プログラムなど、他の交付金を受けて行うこともできる。
8. LCIF糖尿病交付金は、1万ドルを最小金額とし、単一の地区に対しては15万ドル、複合地区に対しては25万ドルを上限に交付されるが、申請額は総事業費の75%を超えないものとする。費用効率の高い方法を用いる事業が優先されるため、上限額の申請は、広範な地域に効果をもたらす事業や、受益者数の多い事業に対してのみ申請すべきである。
9. いかなる時点においても、申請中または実施中のLCIF糖尿病交付金事業は、地区につき2件のみとする。いくつかの国にまたがる地区については、国につき2件までとする。複合地区レベルでは、同時に申請または実施できる糖尿病交付金事業は1件のみとする。不備のある申請書や、詳細が明確になるまでに追加の時間を要する申請書は、審査が後の理事会会議まで延期される場合がある。
10. ライオンズ、現地の糖尿病・保健当局、その他主な事業関係者で構成される運営委員会を設置する必要がある。この委員会が事業の実施を監督し、確実に成功するようにする。
11. 交付金は、既存のプログラムの運営費や人件費に使用することはできない。ただし、場合によっては、事業の開始や大幅な拡大を目的として、予算のわずかな一部をこのような運営費に充てることができる。LCIFの資金援助が終了して以降、こうした費用を賄っていくための計画を、交付金申請時に提出しなければならない。
12. 交付金は、新たな糖尿病医療施設の建設には利用できない。優先される事業は、既存の診療所/病院の改善や拡張を目指すものである。医療施設が不足しているか存在しない地域については、新しい診療所の建設に交付金を利用することができるが、そのような診療所は、実績のある医療機関または組織と協力して運営されなければならない。
13. ライオンズおよび/またはその家族は、LCIFの援助を受ける事業から、直接または職業上の恩恵を受けたり、独占的な利益を受けたりしてはならない。
14. 交付金受領者には、事業完了後6カ月以内に、事業の進捗状況とLCIFからの資金の使途を詳しく説明する報告書および財務報告書を提出する責任がある。報告用紙は、交付金の承認を通知する文書に添えて送られる。中間報告書の提出を怠った複合地区または地区は、交付金の提供を取り消される場合がある。最終報告書の提出を怠った地区または複合地区は、以後さらなる交付金を受け取る資格を失う場合がある。
15. 交付金を承認された事業は、妥当な期間内に実施されるものとする。LCIFは、地区と十分に協議した上で、妥当な期間内に事業が開始されない、または十分な進捗が見られない事業に対する交付金を取り消す権限を有する。交付金を取り消された場合、適切な文書記録のない支出金はすべて、LCIFに返還されるものとする。
16. 申請者が、申請に関するLCIFからの通信物に対して120日以内に返答しなかった場合には、その申請書は審査の対象とならず、取り下げられたものとみなされる。

1.糖尿病交付金を申請できるのは誰ですか？

ライオンズの地区および複合地区はすべて、糖尿病交付金を申請することができます。

2.すでに始まっている事業や完了した事業は、資金援助の対象になりますか？

糖尿病交付金は、まだ始まっていない事業に対してのみ利用できます。LCIFに資金援助を申請する事業がすでに開始していたり、完了している場合には、審査の対象とはなりません。交付金は払い戻しの形では提供されません。糖尿病交付金の申請に当たっては、事業の開始日と完了日はもとより、年に3回開催され、交付金申請に関する決定が下されるLCIF理事会会議の時期も考慮に入れることが重要です。

3.現地マッチング資金の必要な事業に対して、資金を提供しなければならないクラブの数はいくつですか？

少なくとも2つのクラブが、現地マッチング資金を確保および/または調達することにより、相当額の事業資金を負担しなければなりません。理想的には、さらに多くのクラブが交付金事業の開発と実施に関与することです。

4.現物寄付は、現地マッチング資金として認められますか？

交付金を申請する地区または複合地区は、現地マッチング資金を現金の形で調達する必要があります。現物寄付もありがたくはありますが、現地ライオンズの調達分としては認められません。また、事業へのライオンズの労力奉仕時間も、金銭価値に換算することはできません。現地マッチング資金は、LCIF交付金が承認された事業に対して、新たに集められた資金でなければなりません。さらに、交付を認められたライオンズの地区または複合地区は、現地マッチング資金が調達および/または支出されたことの証拠を、LCIF職員に提出しなければなりません(銀行口座の明細書を通して)。

5.交付金には最小申請額および/または最大申請額がありますか？

糖尿病交付金は、1万ドルを最小金額として、単一の地区の事業に対しては15万ドル、複合地区の事業に対しては25万ドルを上限に交付されます。LCIFに対して、事業総予算の75%までの資金を申請できます。

6.地区または複合地区が申請できる糖尿病交付金は何件ですか？

いかなる時点においても、LCIFの承認を受けて実施することのできる糖尿病交付金事業は、地区につき2件までに限られます。いくつかの国にまたがる地区については、国につき2件までです。複合地区レベルでは、ある時点で承認され、実施できる交付金事業は1件のみです。承認された交付金事業が、条件を満たす最終報告書の提出によって完了すると、地区または複合地区は新しいLCIF糖尿病交付金を申請できるようになります。LCIF糖尿病交付金規定9をご覧ください。

7.申請締切日はいつですか？

申請書の審査は、年に3回(8月、1月、5月)開催されるLCIF理事会会議で行われます。申請書は、理事会会議開催日の90日前までにLCIFに届いている必要があります。具体的な締切日については、LCIFのウェブサイトをご覧ください。申請書は、申請締切日より十分に前もって提出することが推奨されています。不備のある申請書や、詳細が明確になるまでに追加の時間を要する申請書は、審査が後の理事会会議まで延期される場合があります。

8.申請書がLCIFに提出されてからのプロセスはどのようなものですか？

LCIFより、申請書の受領をEメールまたは手紙でお知らせします。LCIFからのこの通信物には、受領日、予備審査(適格性を見極めるため)を行なうLCIF地域担当プログラムスペシャリストの氏名、申請を追跡するための交付金番号が記載されています。担当スペシャリストは、事業の目標や目的を明確にするために質問があれば、地区または複合地区に連絡します。スペシャリストが申請と事業の適格性を判断する作業を進める中で、複数の疑問が生じるかもしれません。ライオンズは、交付金の基準により厳密に沿ったものとなるよう、事業案の変更を求められる場合があります。また、返答の期限を指定されることもあります。不備のない適格な申請書のみが、LCIF理事会に提出されて審査を受けることができます。

9. 理事会はどのような決定を下す可能性がありますか？

理事会は交付金を承認（申請額を全額、または減額して）、保留（追加情報や修正が必要なため）、または却下する可能性があります。保留とされる申請は、決定を下すには追加情報が必要とされるものであり、承認されたわけでも、却下されたわけでもありません。

10. 交付金が承認された場合、交付金が下りるまでにどれくらいかかりますか？

交付金は多くの場合、条件付きで承認されます。糖尿病交付金の主な条件としては以下が挙げられます。1) 交付金契約書に署名して返送する、2) 現地マッチング資金の25%以上が集まっていることを証明する。その他に、理事会で適切とみなす条件が設けられる場合もあります。LCIFは、交付金のすべての条件が完全に満たされるまで、交付金を支給しません。ライオンズが必要な現地マッチング資金の25%を集める期間は、交付金承認日から6カ月間です。

11. 交付金が承認されたら、どのような手順でLCIFに支給を求めればよいですか？

交付金契約書が交わされたら、ライオンズは誓約した現地マッチング資金の25%を6カ月かけて集めることができます（まだ集まっていなかった場合）。ライオンズ/パートナーが現地マッチング資金の最初の25%を集め、LCIF職員に適切な証拠を提出したら、ライオンズは初回分の支給をLCIFに要請できますが、その金額はLCIF交付金の25%までとなります。その後の支給を受けるには、ライオンズはLCIFに要請する前に、現地マッチング資金のさらに25%を調達した証拠をLCIF職員に提出しなければなりません。

12. 承認された交付金の管理責任者は誰ですか？

交付金に対する責任は交付金を受けた地区または複合地区が負い、交付金承認の時点で職にあった地区ガバナー（地区レベルの交付金）または協議会議長（複合地区レベルの交付金）が、交付金管理責任者とみなされます。交付金管理責任者には、交付金が理事会に承認された目的で適正に利用されるようにする責任があります。また、交付金事業の完了に伴い、LCIFと適切なキャビネットが、最終報告書を遅滞なく受け取るようにする責任も負います。



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズクラブ国際財団
グローバルヘルス・イニシアチブ課
300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL 60523-8842 USA
630.468.7031 | Diabetesgrants@lionsclubs.org
www.lcif.org